

## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	大峽武
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3425		
事務事業名		4182 金融対策事業										
所 属		150300 産業振興部・商業観光課										
施 策		06023200 商業の活性化										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費										
	事業	020000 金融対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
<p>中小企業者に対し、経営上必要となる資金の融資あっせん、金融保証料及び利子補給など支援を行うことにより、中小企業の振興を図る。</p>						<p>物価高騰等により経営に影響を受けた事業者をはじめ、中小・小規模企業者の皆様の資金繰りを支援するため、継続して金融保証料及び利子補給を行う。</p>						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
制度資金 融資あっせん（市：件数130件、融資金額1,451,057千円、県：件数18件、融資金額623,600千円）、利子及び保証料補給金（市：件数214件、補助金額72,466千円、県：件数18件、補助金額11,320千円）	制度資金 融資あっせん（市：件数106件、融資金額335,140千円、県：件数28件、融資金額214,100千円）、利子及び保証料補給金（市：件数103件、補助金額11,123千円、県：件数28件、補助金額4,210千円）
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
制度資金 融資あっせん（市：件数117件、融資金額549,960千円、県：件数47件、融資金額531,650千円）、利子及び保証料補給金（市：件数137件、補助金額18,563千円、県：件数47件、補助金額9,202千円）	制度資金 融資あっせん（市：件数107件、融資金額396,490千円、県：件数30件、融資金額396,560千円）、利子及び保証料補給金（市：件数130件、補助金額13,263千円、県：件数30件、補助金額7,296千円）
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
制度資金 融資あっせん（市：件数98件、融資金額347,470千円、県：件数52件、融資金額1,018,580千円）、利子及び保証料補給金（市：件数118件、補助金額11,505千円、県：件数52件、補助金額12,935千円）	市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		1,028,371	1,043,051
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,000,000	1,000,000
一般財源		28,371	43,051
人員数 (人)	正規職員	0.9	1.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.2	0.0
人 員 コスト	正規職員	6,411.6	7,836.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	455.4	0.0
	計	6,867.0	7,836.4
市民一人当たりの経費		19.8	20.1
総額		1,035,238.0	1,050,887.4

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	99	消耗品費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	24,441	金融保証料23,721 利子補給金720
その他	1,003,831	預託金1,000,000 会計年度任用職員報酬・手当3,294 会計年度任用職員社会保険料503 郵便料34

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	115	消耗品費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	40,000	金融保証料34,500 利子補給金5,500
その他	1,002,936	預託金1,000,000 会計年度任用職員報酬・手当2,411 会計年度任用職員社会保険料429 郵便料96

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	物価高騰や賃上げなどにより経営に影響を受けている事業者をはじめ、中小規模の事業者の資金繰りを支援するため、継続して制度資金融資あつせん、金融保証料及び利子補給を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	経済動向を注視しながら、国や県の財源・制度を活用し必要となる事業者に必要な支援を行う。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	預託金の貸付先の金融機関・商工会議所などと連携し、事業者には制度の周知など広く行う。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

申請件数・融資金額は前年から大きな変動はなかったが、今後も物価高騰やアメリカ関税等の影響により、資金繰りに困っている中小規模の事業者のため、継続的な支援を行う。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント	
<p>今後は社会情勢に合わせた制度内容の見直しを検討していく。（預託金や補助金内容の見直し）</p>	

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>中小企業の安定的な経営をしていくうえで資金需要は必要不可欠で市としても支援していく必要がある。経済は外的要因で大きく変化するため、大枠は変えずとも内容を臨機応変に変えることも必要。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	大峽武
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線		3425	
事務事業名		4183 商業振興事業										
所 属		150300 産業振興部・商業観光課										
施 策		06023200 商業の活性化										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費										
	事業	030000 商業振興事業										
事業目的						事業概要・効果						
<p>事業者及び商業団体等の実施事業支援、商業の現状把握及び課題対応により、商業の振興を図る。</p> <p>サービス産業振興につながる事業者・団体の活動に対し、関係機関との連携を図り、起業支援や活動支援を通じて商業の振興を図る。</p>						<p>デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進交付金）を活用し、中心市街地でのイベント開催や商店等の事業主が自主喚起により店舗のファンを増やす取り組みを支援し、まちの賑わい創出や交流人口の増加につなげる。</p>						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
中心市街地活性化事業補助 687千円 街路灯設置及びLED化事業補助 224千円 街路灯電気料補助事業 370千円 わざわざ店等開設支援事業 6,618千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円	中心市街地活性化事業補助 2,503千円 街路灯設置及びLED化事業補助 122千円 街路灯電気料補助事業 400千円 わざわざ店等開設支援事業 3,916千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
中心市街地活性化事業委託料 7,878千円 街路灯設置及びLED化事業補助 435千円 街路灯電気料補助事業 491千円 わざわざ店等開設支援事業 6,236千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円	中心市街地活性化事業委託料 7,878千円 街路灯設置及びLED化事業補助 338千円 街路灯電気料補助事業 356千円 わざわざ店等開設支援事業 7,482千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
中心市街地活性化事業委託料 7,878千円 街路灯設置及びLED化事業補助 630千円 街路灯電気料補助事業 407千円 わざわざ店等開設支援事業 4,312千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円	中心市街地活性化事業補助 街路灯設置及びLED化事業補助 街路灯電気料補助事業 わざわざ店等開設支援事業 商業団体等が行う事業等に対する補助

指標名	新規開設店舗累計数					
算式	前年度までの新規開設店舗累計数に当該年度新規開設店舗数を加えた数					単位 件
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	11	18	24	31	37
	実績	11	18	25	31	
指標選定の理由	新規出店によるにぎわい創出					
最終年度目標の根拠	新規出店数					
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		30,100	181,642
特 定 財 源	国庫支出金	7,994	57,051
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	10,812	85,006
一般財源		11,294	39,585
人員数 (人)	正規職員	1.7	1.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.2
人 員 コスト	正規職員	12,110.8	9,973.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	227.7	455.4
	計	12,338.5	10,429.0
市民一人当たりの経費		0.8	3.7
総額		42,438.5	192,071.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	6	謝礼
10節 需用費	350	消耗品104、燃料費47、修繕料199
12節 委託費	16,013	中心市街地活性化事業(恋人の聖地事業)7,878、やまじゅう指定管理(恋人の聖地事業)8,108、やまじゅう樹木選定27
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	13,266	商業団体強化育成事業補助金6,500、わざわざ店補助4,312、中心市街地活性化補助金1,500、商店街街路灯電気料支援給付金407、その他547
その他	465	旅費29、郵便料81、機器賃借料256、借上料92、公課費7

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	8	謝礼
10節 需用費	764	消耗品177、燃料費69、修繕料518
12節 委託費	76,661	中心市街地活性化事業7,878、商業振興事業8,000、やまじゅう指定管理7,723、キャッシュレス化還元45,000、専門家派遣60、須坂市ブース8,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	94,978	商業団体強化育成6,500、わざわざ店6,540、物産販売観光振興業務運営5,000、須坂市ブース施設整備70,000、キャッシュレス決済導入2,000、その他4,938
その他	9,231	報酬6,384、共済費1,002、旅費140、使用料及び賃借料1,645、役務費60

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	中心市街地活性化イベントに大勢の参加があり賑わい創出につながった。事業者・商業団体の活動に対し、関係機関と連携し、起業支援や活動支援を継続的に行っていく。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	わざわざ店補助、商業団体強化育成補助、中心市街地活性化事業補助など、ニーズに沿った支援を行う。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	国交付金など活用し、経済動向に合わせ支援が必要な方に必要となる支援を行う。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

やまじゅうの自主事業等で空き店舗の情報収集及び情報提供を行うとともに、わざわざ店補助により空き店舗の解消が図れた。社会動向に合わせ、支援内容の見直しを進める必要がある。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント	
<p>ニーズに沿った支援を行う必要がある。 社会動向に合わせた支援内容の見直しを進める必要もあり。</p>	

**2次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
<p>限定的で一過性のイベント補助などの支援に対する効果検証が必要。 市の商業全体の底上げにつながるような効果的な支援を検討する必要がある。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	塩崎智一
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3425		
事務事業名		4185 観光施設管理事業										
所 属		150300 産業振興部・商業観光課										
施 策		06023300 地域資源を活かした観光の振興										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	070103 商工費・商工費・観光費										
	事業	010000 観光施設管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
観光客の皆様が、安全で快適に楽しんでいただけるよう、適切に施設の維持管理を行う。						米子大瀑布、五味池破風高原、峰の原高原等を中心とした観光地や、ふれあい健康センター(湯っ蔵んど)等観光施設の維持管理に係る事業を行う。						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費23,660千円 その他観光施設4,059千円 指定管理業務委託（4施設）	須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）	須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）	須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）

指 標 名	観光施設入館者数					
算 式	湯っ蔵んど入館者数/年間					単位 人
年 度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標	未定	未定	未定	未定	280,000
	実 績					
指標選定の理由	施設管理事業にて維持管理を行っている施設であるため。					
最終年度目標の根拠	近年は近隣に類似施設が多くある中、入館者数は逡減傾向にあるため2019年度278,971人の入館者数を維持する					
指 標 名	観光地利用者数					
算 式	観光地利用者統計調査による					単位 人
年 度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標	550,000	650,000	700,000	750,000	800,000
	実 績	621,600	749,200	752,900	723,800	
指標選定の理由	観光地利用者統計調査による数値のため					
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位 人
年 度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		79,896	81,775
特 定 財 源	国庫支出金	0	1,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	41,586	3,436
一般財源		38,310	77,339
人員数 (人)	正規職員	1.4	1.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.7	0.0
人 員 コスト	正規職員	9,973.6	9,973.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	3,870.9	0.0
	計	13,844.5	9,973.6
市民一人当たりの経費		1.8	1.8
総額		93,740.5	91,748.6

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	5	品代5
10節 需用費	33,182	修繕費32,451 ほか731
12節 委託費	29,754	指定管理者委託料16,480 ほか14,005
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	9,978	市民無料入浴負担金9,928 ほか50
その他	6,977	報酬2,345、職員手当等556、共済費422、役務費2,375、使用料及び賃借料1,103、備品購入費176

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	10	謝礼10
10節 需用費	30,804	消耗品費204、燃料費197、光熱水費403、修繕費30,000
12節 委託費	33,455	施設管理委託料2,148、保守委託4,531、指定管理者委託料16,440 ほか10,336
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10,649	市民無料入浴負担金10,600 ほか49
その他	6,857	報酬1,858、職員手当等553、共済費403、役務費2,690、使用料及び賃借料1,146、備品購入費200、公課費7

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	施設を維持するためには必要不可欠ではあるが、事業精査により経費削減が可能。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	施設利用者数は増えてきているところもあり、有効と考えている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	クロカンについては、ネーミングライツを募集し、維持費用に充てるよう財源確保に努めている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

指定管理者制度の必要性や事業精査が必要。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

**2次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
-----------	------------

**総合評価コメント**

引き続き適切な維持管理を行っていく

**2次評価コメント**

施設の必要性や指定管理者制、費用対効果などを精査する必要あり。「湯っ蔵んど」は民間移譲に向け準備中。

**外部評価**

次年度以降の方向性	
-----------	--

**外部評価コメント**

## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	塩崎
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3425		
事務事業名		4186 観光・誘客宣伝事業										
所 属		150300 産業振興部・商業観光課										
施 策		06023300 地域資源を活かした観光の振興										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	070103 商工費・商工費・観光費										
	事業	020000 観光・誘客宣伝事業										
事業目的						事業概要・効果						
観光宣伝及びイベント等の開催により観光誘客を図る						観光パンフレットの作成や観光情報の提供、観光案内誘客業務委託（須坂市観光協会）や観光PR業務委託等により、観光誘客を図る。						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 観光案内誘客業務委託（21,600千円）や観光PR業務委託（8,000千円）等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託（21,600千円）や観光PR業務委託（8,000千円）等による観光誘客
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託（47,600千円）や観光PR業務委託（8,000千円）等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託（57,660千円）や観光PR業務委託（8,000千円）等による観光誘客
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託（48,608千円）や観光PR業務委託（8,000千円）等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客

指標名	シルキー観光案内所への観光客数					
算式	シルキー観光案内所での観光客利用者数					単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	2,000	2,000	25,000	2,500	3,000
	実績	2,214	2,592	2,493	3,812	
指標選定の理由	観光案内所へ訪れる観光客数により、戦略的なPRの効果が計れる					
最終年度目標の根拠	大型イベント等の実施の有無により利用者数が増減するが、コロナ禍の状況もあり2019年度の実績値（2,979人）を維持する					
指標名	観光地利用者数					
算式	観光地利用者統計調査による					単位 人
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	550,000	650,000	700,000	750,000	800,000
	実績	621,600	749,200	752,900	723,800	
指標選定の理由	観光地利用者統計調査による数値のため					
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		89,604	86,000
特 定 財 源	国庫支出金	33,730	30,003
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		55,874	55,997
人員数 (人)	正規職員	1.4	1.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.3	0.1
人 員 コスト	正規職員	9,973.6	11,398.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	683.1	227.7
	計	10,656.7	11,626.1
市民一人当たりの経費		1.9	1.9
総額		100,260.7	97,626.1

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,385	消耗品費116、印刷製本費1,269
12節 委託費	60,608	観光案内誘客業務48,608、観光PR業務委託8,000、峰の高原誘客業務委託4,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	26,364	恋人の聖地負担金15,000、峰の高原観光協会補助金4,000 ほか7,364
その他	1,247	旅費237、ほか1,010

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,374	消耗品129、印刷製本1,233、ほか12
12節 委託費	51,503	観光案内誘客業務47,448、峰の原誘客業務4,000 ほか55
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	27,264	恋人の聖地負担金15,000、峰の原高原観光協会負担金4,000 ほか8,264
その他	5,859	旅費335、地域お越し協力隊報酬3,192、ほか2,332

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	費用対効果等を考え、精査できる事業を整理する必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	事業の内容が直接的な成果まで繋がっていない事業があるため、見直しは必要。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	受託者はお金ありきで考えている部分があるため、本来のお金の使い道を精査する必要がある。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

本来、必要な事業がどうか全般的に見直しが必要。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント	
負担金の見直しを念頭に事業を見直していく。	

**2次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
事業全体の経費の見直しが必要。 委託事業の効果の有効性などを検証する必要がある。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	塩崎
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3425	
事務事業名		4187 観光施設整備事業										
所 属		150300 産業振興部・商業観光課										
施 策		06023300 地域資源を活かした観光の振興										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	070103 商工費・商工費・観光費										
	事業	030000 観光施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
観光地における観光案内板や案内標識の整備による観光客の誘導、回遊を促進し観光客の皆さまが安全で快適に楽しんでいただけるようにするとともに観光基盤整備を行う。						魅力ある観光地づくりと観光振興、来訪者の安全確保のため、登山道等の修繕を行う。						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
米子大瀑布遊歩道測量設計業務ほか792千円 米子大瀑布登山道権現沢橋修繕ほか3,361千円 前山つつじ公園案内看板設置工事490千円 指定避難所（須坂温泉古城荘）耐震補強等工事負担金137,980千円	峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（ふるさと寄附金）30,000千円 峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（辺地債）166,474千円 米子大瀑布整備工事7,300千円ほか
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（辺地債）158,000千円 米子大瀑布整備工事7,650千円ほか	峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（辺地債）143,000千円 米子大瀑布整備工事2,629千円ほか
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
米子大瀑布整備工事2,198千円ほか	

指 標 名	山間部での遊歩道の整備不足による事故件数					
算 式	米子遊歩道整備不足による事故件数					単位 件
年 度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標	0	0	0	0	0
	実 績	0	0	0	0	0
指標選定の理由	遊歩道整備不足による事故を防ぐ。					
最終年度目標の根拠	遊歩道整備不足による事故を防ぐ。					
指 標 名	観光地利用者数					
算 式	観光地利用者統計調査による数値					単位 人
年 度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標	550,000	650,000	700,000	750,000	800,000
	実 績	621,600	749,200	752,900	723,800	
指標選定の理由	観光地利用者統計調査による数値のため					
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		2,996	7,000
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	900
	その他	2,995	5,400
一般財源		1	700
人員数 (人)	正規職員	0.8	0.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	5,699.2	4,986.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	5,699.2	4,986.8
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		8,695.2	11,986.8

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	2,996	観光案内看板設置工事798、米子大瀑布整備工事2,198
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	500	米子大瀑布登山道等災害復旧測量設計委託料 500
14節 工事請負費	6,500	観光案内看板設置工事800、米子大瀑布整備工事2,200、インター前広告塔修繕工事2,500、ほか1,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	観光地として維持していくためには、ある程度は整備が必要であるが、優先順位を決めて事業を精査していく必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	観光地の整備は単なる施設の改善にとどまらず、地域全体の発展に寄与することができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	米子大瀑布については、募金箱の設置をし整備等へ充てているが、お金が落ちるような取り組みを積極的に行う必要がある。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

大雨等により突発的な工事が必要となきもあるが、費用対効果等を検証しながら事業の見直しをしていく必要がある。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
総合評価コメント	
<p>修繕工事等は先々において必要と考える。 また、緊急時の対応についても検討が必要。</p>	

**2次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
<p>修繕工事は優先順位をつけ必要最小限と定める。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	大峽武
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3425		
事務事業名		4189 シルキーホール管理事業										
所 属		150300 産業振興部・商業観光課										
施 策		06023300 地域資源を活かした観光の振興										
会計		01 一般会計										
科目		070104 商工費・商工費・シルキーホール費										
事業		010000 シルキーホール管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
市民文化の向上を図り、ふれあいの場を提供するため、多目的集会施設として広く市民に開放し、利用の推進に努める。						多目的集会施設として広く市民に開放し、諸会議・各種研修会・サークル活動等の研鑽の場として利用された。 市民プラザを（一社）信州須坂観光協会に委託し、観光案内拠点や来訪者の休憩場所として活用している。						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
コロナの影響で、ホールの利用者数、市民プラザの入館者数は大幅に減少した。	コロナ禍の影響で、県の警戒レベルが上がっても施設の利用は中止とせず、感染対策を取りながら開放した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
コロナ禍の影響で、減少したホールの利用者・市民プラザへの入館者も少しずつ戻ってきている。	コロナ禍明けで、減少したホールの利用者・市民プラザへの入館者も少しずつ戻ってきている。
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
コロナ禍を経て減少したホールの利用者・市民プラザへの入館者も少しずつ戻ってきている。	シルキーホールは、多目的集会施設として広く市民に開放する。市民プラザは、須坂駅前の玄関口として、観光情報をはじめ、様々な情報提供の場として活用する。

指 標 名	シルキーホール利用者					
算 式	第1、第2ホール利用者					単位 人
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標	12,614	12,614	12,614	12,614	12,614
	実 績	12,614	14,966	13,938	16,145	
指標選定の理由	利用状況が的確に把握できるため					
最終年度 目標の根拠	コロナ禍であるが、施設の利用を維持する。					
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		17,837	9,473
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	8,000	0
	その他	4,574	90
一般財源		5,263	9,383
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人 員 コスト	正規職員	1,424.8	1,424.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	227.7	227.7
	計	1,652.5	1,652.5
市民一人当たりの経費		0.4	0.2
総額		19,489.5	11,125.5

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,370	電気料1,748、修繕料622
12節 委託費	5,448	指定管理委託料5,223、空調保守点検225
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	9,868	共用管理費負担金1,868、施設改修費負担金8,000
その他	151	電話料35、使用料及び賃借料116

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,800	電気料1,700、修繕料100
12節 委託費	5,476	指定管理者委託料5,223、空調保守点検253
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,000	共用管理費負担金
その他	197	電話料44、使用料及び賃借料153

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	やや低い
評価コメント	中心市街地に位置し、エレベーターや駐車場利用も可能であるため確定申告会場など利用されている。 コロナ禍を経て、大人数での利用機会が減り、施設を含むシルキービルの老朽化が進み改修箇所が増え、施設の今後について再考する時期にきている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	中心市街地に位置し、エレベーターや駐車場利用も可能であるため確定申告会場など利用されている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや悪化
評価コメント	施設を含むシルキービル（昭和61年築）の老朽化が進み改修箇所が増えている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の今後について、再考する時期にきている

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
総合評価コメント	
指定管理の在り方も含め検討	

**2次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
2次評価コメント	
維持管理経費が年々増加しており、市が所有する必要性や指定管理のあり方など多面的に検討が必要。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	大峽武
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3425	
事務事業名		18256 シルキーホール整備事業										
所 属		150300 産業振興部・商業観光課										
施 策		06023300 地域資源を活かした観光の振興										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	070104 商工費・商工費・シルキーホール費										
	事業	020000 シルキーホール整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
市施設（シルキーホール）を含むシルキービル全体を一括管理するシルキー管理組合において緊急性の高い修繕工事の実施に伴い、占有面積に応じて工事費を負担するもの。						シルキーホール（須坂駅前シルキービル3階）は須坂市地域防災計画において、指定緊急避難場所・指定避難所として指定しており、シルキービルが1986年築で建物が老朽化しており、有事の際、避難者を安全に受け入れるため、施設の改修（防災機能の強化）が急務である。						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
	シルキービル施設改修費負担金9,300千円 （緊急防災・減災事業債）

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		0	9,300
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	9,300
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.2
総額		0.0	9,300.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	9,300	施設改修費負担金
その他	0	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	市指定避難所であるシルキーホールが入るシルキービルの維持管理費の負担	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	緊急時の避難所の機能強化	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや悪化
評価コメント	施設の経年劣化により今後も修繕箇所が増えることが予想される	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の今後について検討していく必要がある。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

**2次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
-----------	------------

**総合評価コメント**

施設の維持管理のため、計画的な改修が必要となり、  
 対応の負担が必要。

**2次評価コメント**

引き続き、市で所有していく必要があるのか施設のあり方  
 を検討する必要がある。

**外部評価**

次年度以降の方向性	
-----------	--

**外部評価コメント**

## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林
全体計画						経費区分	部局長裁量枠			内線	3137	
事務事業名		4040 一般管理事務費										
所 属		050200 総務部・政策推進課										
施 策		06023400 特色を生かした地域振興の推進										
予 算		会 計		01 一般会計								
科 目		目 録		020109 総務費・総務管理費・企画費								
事 業		目 録		010000 一般管理事務費								
事業目的						事業概要・効果						
						政策推進課の一般管理費						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		17,692	21,614
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	17	18
	地方債	0	0
	その他	0	5,801
一般財源		17,675	15,795
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		17,692.0	21,614.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	455	
10節 需用費	1,254	
12節 委託費	819	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,282	
その他	13,882	

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	400	
10節 需用費	2,652	
12節 委託費	5,819	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,375	
その他	11,368	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	—
評価コメント		
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	—
評価コメント		
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	—
評価コメント		

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

--

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	—	次年度以降の方向性	—
総合評価コメント		2次評価コメント	

**2次評価****外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	佐藤光
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3007		
事務事業名		4043 国際交流等事業										
所 属		050200 総務部・政策推進課										
施 策		06023400 特色を生かした地域振興の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費										
	事業	040000 国際交流等事業										
事業目的						事業概要・効果						
国際化の進展に伴い、友好都市との交流を深め、国際化に対応した人づくりを推進する。						平成6年度の中国吉林省四平市との国際友好都市の締結から親善交流事業として行っている友好訪問などは両市の友好と交流に寄与している。 また、様々な機会を通じ、国際交流の進展を図っている。						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加	須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加 四平市・須坂市の大学生・高校生を中心としたオンライン交流の実施	須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加 長野県日中友好都市中学生卓球交流大会の実施 ※四平市の都合により中止
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
友好都市締結30周年の節目として、須坂市訪中団を8月10日～13日の日程で四平市を訪問。また、9月下旬（予定）に四平市からの訪日団の受け入れ。 ※四平市の都合により中止	須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会（2025年8月開催予定）への参加（文化スポーツ課が主管）

指 標 名	無し					
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		669	2,176
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		669	2,176
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	1,424.8	1,424.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,424.8	1,424.8
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		2,093.8	3,600.8

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	26	記念品代他26
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	643	旅費631、その他12

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	180	通訳等謝礼100、記念品代80
10節 需用費	320	消耗品20、食糧費300
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,676	旅費1,247、その他429

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	中国政府行政（四平市）とのやり取りとなることから、須坂市日中友好協会と連携して須坂市が取り組むべき事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	交流を通して国際的な相互理解につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	概ね5年ごとに参加している「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会（北京で開催）」は、須坂市日中友好協会・須坂市卓球協会と須坂市で「須坂市チーム」を組織し参加しているが、参加費用に関しては、これまで須坂市の予算としてきた。2025年度の参加に当たり、3者で費用負担の見直しを協議し、次回の参加の際には各協会が費用負担をする方向で話がまとまった。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

友好都市締結30周年を迎えた2024年度に計画していた30周年の相互訪問は、四平市の都合で取りやめとなり、直接的な交流の成果とはならなかったが、時節の挨拶等のやり取りは継続できた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
2024年度に計画していた友好都市締結30周年の相互訪問は、四平市の都合で取り止めとなったが、今後も国際交流活動を通じた多文化共生への理解促進を図る必要がある。		国際的な友好都市との交流活動を推進し、市民の国際理解を深めるとともに多様性を認め合う意識を高める必要がある。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石 保
全体計画		令和 3年度 ~			経費区分		部局長裁量枠		内線		3261	
事務事業名		16294 信州須坂ふるさと応援寄附金事業										
所 属		050200 総務部・政策推進課										
施 策		06023400 特色を生かした地域振興の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費										
	事業	050000 信州須坂ふるさと応援寄附金事業										
事業目的						事業概要・効果						
<p>●信州須坂ふるさと応援寄附金の募集等を通じ、市の特色である果物をはじめ、各種地場産品のPRを行い、産業振興や地域振興につなげる。</p> <p>●返礼品への同梱物やSNSを活用し、市のPRも効果的にを行い、関係人口の創出につなげる。</p>						<p>●須坂市の魅力や地域特性をPRすることを通じ、ふるさと納税（信州須坂ふるさと応援寄附金）の増額につなげることができている。</p> <p>●市の特産品を返礼品として送付することを通じ、須坂市のファンを増やし、継続的に寄附や市の認知拡大を図っている。</p>						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
寄附額1,470,702,000円（寄附件数：108,607件） 寄附額は県内3位、寄附件数については県内1位の寄附受入実績となった。 ※返礼品提供事業者数の増加充実による安定した返礼品の提供体制の確立など。	寄附額2,371,412,005円（寄附件数：179,607件） ※大手寄附ポータルサイトでのPR対策（返礼品の検索対策）、返礼品同梱パンフレットの内容充実等によるリピート寄附の増加など。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
寄附額3,234,975,168円（寄附件数：251,707件） 寄附金額、寄附件数とも過去最高値となった。 ※SNSを活用した積極的な情報発信、丁寧な寄附者対応（ポータルサイトのレビュー対応）、ワンストップ特例申請のオンライン化による寄附者利便性向上等。	寄附額3,925,607,000円（寄附件数：286,802件） ※地域産品を活用した特産品PR施策（レシピ投稿やフォトコンテスト実施）の実施、体験型返礼品の充実、国の制度改正による返礼率の見直し、業務委託契約見直し、印刷物業務内製化による経費削減。
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
寄附額4,705,246,350円（寄附件数：321,003件） （実施計画上の財政計画数値による。） ※寄附者との継続的な関係構築のための各種企画実施、果物類以外の返礼品の認知拡大。	ふるさと納税の指定取消のため〇

指標名	信州須坂ふるさと応援寄附金の返礼品提供事業者数					
算式	ふるさと納税返礼品について提供実績（1件以上）のあった事業者数を計測					単位 件
年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	
目標値	目標	55	60	65	70	75
	実績	90	100	113	125	
指標選定の理由	寄附金増額のためには返礼品ラインナップの充実が欠かせない。また、多種多様な返礼品があることで市の認知度アップにつながる。					
最終年度目標の根拠	年間5件×計画期間5年					
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		5,138,633	3,171,058
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5,138,633	3,171,058
一般財源		0	0
人員数 (人)	正規職員	2.8	38.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2.0	2.5
人 員 コスト	正規職員	19,947.2	270,712.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	4,554.0	5,692.5
	計	24,501.2	276,404.5
市民一人当たりの経費		98.7	65.9
総額		5,163,134.2	3,447,462.5

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,037,911	返礼品の調達に係る費用 1,037,911
10節 需用費	9,644	印刷物発行にかかる消耗品等 9,644
12節 委託費	2,017	管理システム保守委託料675、市特設サイト保守点検委託料242、地域の特産品PR業務委託料 1,100
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	598	自治体向けチャットツール共同利用負担金 598
その他	4,088,463	通信運搬費 35,796、使用料及び賃借料 3,559手数料 923,091、基金積立金 3,118,158、その他人件費 7,859

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	687,501	寄附者謝礼 687,501
10節 需用費	4,701	印刷物発行にかかる消耗品代等) 4,701
12節 委託費	3,299	ふるさと納税管理システム保守委託料1,077、市特設ふるさと納税サイト保守点検委託料 242、継続寄附可視化分析業務委託料 1,980
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	716	自治体向けチャットツール共同利用負担金 666 ふるさと納税PRイベント出席負担金 50
その他	2,474,841	通信運搬費 22,659、寄附サイト等利用手数料550,953、基金積立金1,889,685、人件費 7,853使用料及び賃借料等 3,691

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	ふるさと納税の返礼品を通じて、須坂市の特産品のPRにつながっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	返礼品提供事業者が年々、増えており、目標は達成している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	広告料や委託料を見直し、効果を上げた。今後は使用料や委託料を削減する必要がある	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

寄附額が増加し、特産品のPRにつながるなど成果を上げたが、返礼品提供事業者が産地偽装を行っていることが発覚し、ふるさと納税の取り消し処分となった。  
 今後は、再発防止策を作り、再開に向けて計画する必要がある

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント	
<p>寄附額やブランド構築の面で成果は上げられた。 2年間の指定取消処分が下りたため、一旦は終了する。</p> <p>再開に向けては、須坂市としての事業運営方針や組織運営・人員体制等を再構築していく必要がある。</p>	

**2次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
<p>寄付額やブランド構築の面で一定の成果は上げられた。</p> <p>今後は、ふるさと納税再開時に向けての体制づくり、事業者との連携の構築、信頼回復の取組みなどを実施する。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	



## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林、原
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3137、3139		
事務事業名		4044 地域活性化事業										
所 属		050200 総務部・政策推進課										
施 策		06023400 特色を生かした地域振興の推進										
予算科目		01 一般会計										
		020114 総務費・総務管理費・地域振興費										
		010000 地域活性化事業										
事業目的						事業概要・効果						
<p>地域づくりの理念に基づき、市民との共創で須坂市にしかない地域資源を全国に発信する事業を企画実施し、須坂ブランドを確立し育て、交流人口を増やすとともに市民の誇りや地元愛を醸成する。</p>						<p>文字や写真だけでは伝えることができない動画の特性を活かし、Goolightと連携した編集動画をSNSを活用し配信する。</p> <p>デジタル活用や地域情報の連携、観光交流人口の増加を目的とした地域アプリ導入に向けた検討（ビジョン作成）を進める。</p>						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図る。市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介した。	市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介した。須坂市の課題解決に取組みたい外部人材を募集し、五味池・須坂温泉を舞台に、アウトドア・リトリートの2テーマの取組を通じて関係人口創出に取組んだ。	市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介した。データ活用ワークショップにより職員のデータ活用やマーケティング能力の向上を図った。昨年度取組んだ2テーマについて具体的なプロジェクトの実行や、今後に向けたモデルの創出に取組んだ。
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。引き続き職員のデータ活用やマーケティング能力の向上を図る。関係人口の創出では、都会と須坂市をつなぐプロジェクトにより関係人口の創出を図っていく。	市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。職員のデータ活用やマーケティング能力の向上を図る事業は、ふるさと納税の指定取消しに伴い中止する。地域づくり団体活動支援や貸付事業は、引き続き行う

指標名						
算式						単位 件
年度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	設定指標なし（「結婚支援事業」を「移住交流・結婚支援事業」に組み替えたため）					
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位 組
年度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	設定指標なし（SNSによる情報発信における該当指標なし）					
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		11,328	12,187
特 定 財 源	国庫支出金	4,015	2,213
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,977	5,000
一般財源		5,336	4,974
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	4,986.8	6,411.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,986.8	6,411.6
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		16,314.8	18,598.6

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	8,601	地域情報チャンネル番組制作 1,320 データ活用ワークショップ委託料等 7,281
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	410	地域づくり団体活動支援補助金 410
その他	2,317	使用料 750、地域づくり団体等活動支援貸付金 1,567

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	150	謝礼 150
10節 需用費	0	
12節 委託費	4,860	地域情報チャンネル番組制作 1,320 関係・交流人口拡大促進業務委託料 3,540
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,200	地域づくり団体活動活動支援補助金 1,200
その他	5,977	費用弁償 90、地域アプリ使用料 887、貸付金 5,000

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	やや低い
評価コメント	地域活性化は、引き続き重要な課題であるが、本事業は外部人材の活用やデータ利活用の効果が不明確であるとともに必要性の説得力に欠ける。昨年度からの課題を整理し、事業の方向性や実施体制の見直しが必要と思われる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	あまり有効ではない
評価コメント	地域活性化は、引き続き重要な課題であるが、本事業は外部人材の活用やデータ利活用の効果が不明確であるとともに必要性の説得力に欠ける。昨年度からの課題を整理し、事業の方向性や実施体制の見直しが必要と思われる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや悪化
評価コメント	地域活性化は、引き続き重要な課題であるが、本事業は外部人材の活用やデータ利活用の効果が不明確であるとともに必要性の説得力に欠ける。昨年度からの課題を整理し、事業の方向性や実施体制の見直しが必要と思われる。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

地域活性化の取り組みについては、市が主体的に関与することも一定の意義や効果があるが、将来的には地域の自立を見据えた展開が望まれる。

今後は、地域の主体的な取り組みを後押しし、自立を促すことを基本とした運用が必要であり、その観点から必要性や効果が薄い事業については、適切に見直しを行う必要がある。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント	
<p>これまで実施してきた事業の効果をしっかり検証し、市民生活に影響がない事業については廃止を検討していく。</p>	

**2次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
<p>必要性や効果の薄い事業については、事業の見直しを行っていく。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 7 年度 行政評価事業別シート

実計対象		<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	和田敬宏
全体計画						経費区分	部局長裁量枠			内線	3530	
事務事業名		4227 蔵の町並みキャンパス運営助成事業										
所 属		200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策		06023400 特色を生かした地域振興の推進										
予 算		01 一般会計										
科 目		080401 土木費・都市計画費・都市計画総務費										
事 業		040000 蔵の町並みキャンパス運営助成事業										
事業目的						事業概要・効果						
歴史と文化の遺産である蔵造り等の建物を活用し、キャンパスとして学生が研究・交流する中で、21世紀を担う知の創出と情報発信を行う。また、新たな研究・教育機能を持った都市づくりを産・学・官・民の協働により行う。						信大、県立大、清泉女学院大、長野高専、文化学園大、東京工科大などが歴史と文化の集積である蔵造りの建物等を学生の研究や授業の場として活用した。市ではその成果を発信し、文化・産業遺産として次世代へ継承するとともに、産・学・官・民の協働による新たな研究機能をもったまちづくりを行った。						

## PLAN-DO

## 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
4校5学部（学科）300人（コロナ禍の影響による）	5校7学部（学科）520人（コロナ禍の影響による）
令和 4年度 実績	令和 5年度 実績
7校8学部（学科）1000人（コロナ禍の影響による）	7校9学部（学科）1000人
令和 6年度 実績	令和 7年度 予定
7校9学部（学科）1000人	7校9学部（学科）1000人

指 標 名	蔵の町並みキャンパス年間延べ参加者数					
算 式	年間延べ参加者数					単位 人
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標	420	1,000	1,000	1,000	1,000
	実 績					
指標選定の理由	須坂市の歴史的資産、資源を活用した蔵の町並みキャンパスにより、地域振興を図るため。					
最終年度 目標の根拠	参加大学の学生数（過去の実績を基に算定）					
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

## 事業費

(単位：千円)

		令和 6年度 決 算	令和 7年度 予 算
事業費		900	900
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		900	900
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.5
	会計年度（フル）	0.0	0.0
	会計年度（パート）	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	3,562.0	3,562.0
	会計年度（フル）	0.0	0.0
	会計年度（パート）	0.0	0.0
	計	3,562.0	3,562.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,462.0	4,462.0

(単位：千円)

令和 6年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	900	蔵の町並みキャンパス事業負担金900
その他	0	

(単位：千円)

令和 7年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	900	蔵の町並みキャンパス事業負担金900
その他	0	

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>・行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>・市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	市が主体となり実施する事で、大学、地元事業者、行政が連携して取り組むことができ、県内外の学生に須坂を知ってもらい、来訪するきっかけとなっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果は上がっているか</li> <li>・目標に対する達成度は十分か</li> <li>・市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	県内外の学生が須坂を訪問する際は、市内の文化施設や博物館などを見学したり、伝統的な街並みの散策などを行い、賑わいの創出につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>・効率性向上に努めているか</li> <li>・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	県内外の学生に須坂市を知ってもらうことで、地元企業とのつながりができ、成果は向上している。授業以外にも市内を見学する学生もあり、効率性向上につながっている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

大学ごとの特色をいかした活動・取組みを行っていただいた。授業や研究を通して須坂市の魅力や課題について学びを深めることができた。

**ACTION****1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>キャンパス事業は19年目を迎え、各学校の参加は延べ約1,000人 となり、その取り組みは須坂市の魅力発掘や課題解決の一助となっており、今後も継続した支援を行っていくべきと考えます。</p>	

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>学生がキャンパスとして歴史と文化の遺産である蔵造り等の建物の残る街に入り研究・交流ことにより、地域の活性化やまちづくりつながる。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	